

MAX

ENGINEERED FOR
PERFORMANCE

マックス株式会社

2024年3月期第1四半期 決算説明会資料

発表日:2023年7月31日

出席者

専務取締役 上席執行役員
IR広報・ESG推進室長

角 芳尋
須田 庸夫

目次

2024年3月期第1四半期 全社実績

1. 2024年3月期第1四半期 全社実績
2. 2020～24年3月期第1四半期 全社実績推移
3. 四半期別売上高推移
4. 四半期別営業利益推移
5. 営業利益の増減要因
6. その他の財務情報
7. 戦略的投資の実績
8. 経済指標

2024年3月期第1四半期セグメント実績

9. 2024年3月期第1四半期 セグメント実績
10. 四半期別セグメント実績推移
11. インダストリアル機器部門 2024年3月期第1四半期実績
12. インダストリアル機器部門 四半期別売上高推移
13. オフィス機器部門 2024年3月期第1四半期実績
14. オフィス機器部門 四半期別売上高推移
15. HCR機器部門 2024年3月期第1四半期実績
16. HCR機器部門 四半期別売上高推移
17. 四半期別海外地域別売上高推移
18. 重点事業:鉄筋結束機事業の概況

2024年3月期 業績予想

19. 2024年3月期第2四半期(累計) 全社計画
20. 2024年3月期第2四半期(累計) セグメント計画
21. 2024年3月期 全社計画
22. 2024年3月期 セグメント計画
23. 配当政策 配当性向と純資産配当率
24. 配当政策 1株当たり配当金

参考資料

25. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)
26. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)
27. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(日本除くアジア)
28. 機工品事業及びオフィス事業の主な製品
29. 国内・海外機工品事業 製品内訳
30. 国内・海外オフィス事業 製品内訳

2024年3月期第1四半期 全社実績

2024年3月期第1四半期 全社実績

■為替レート

当期 1ドル 135.81円 / 1ユーロ 147.90円

前期 1ドル 126.50円 / 1ユーロ 136.76円

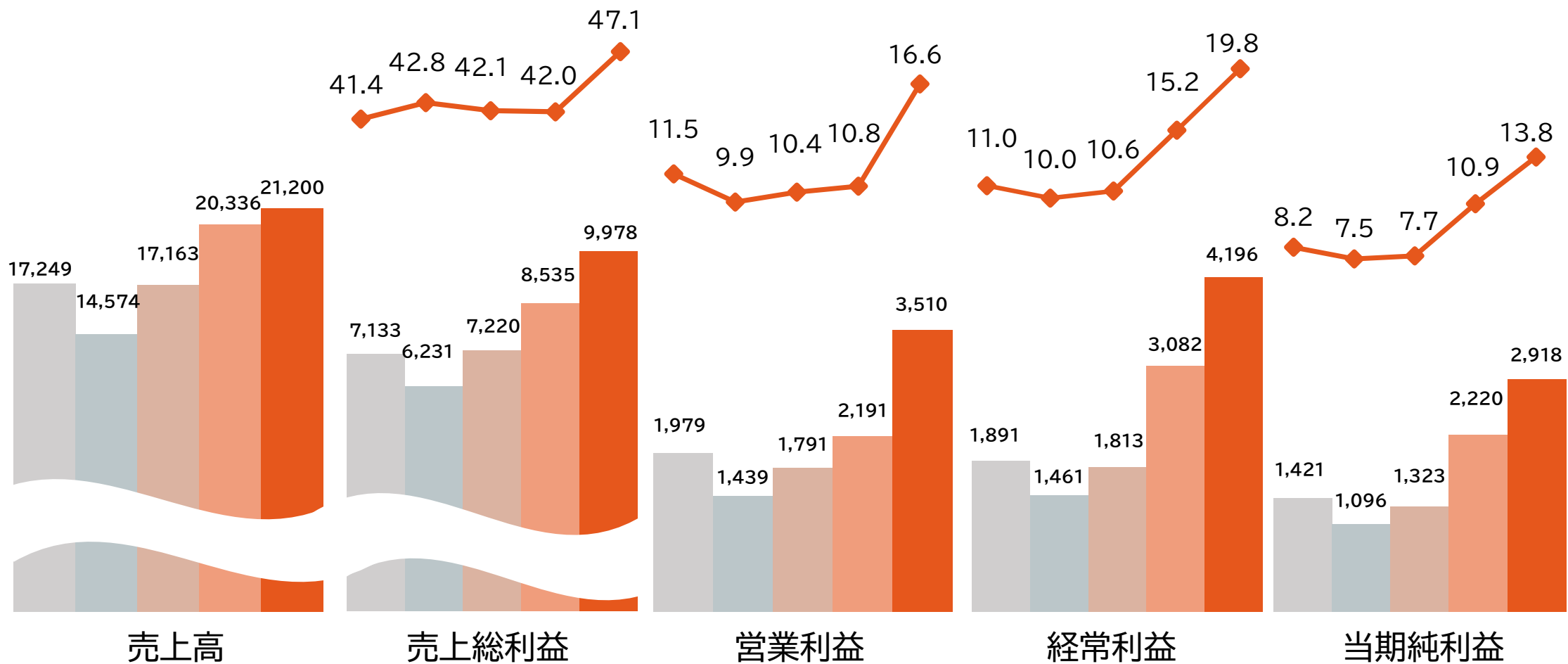
計画 1ドル 130.00円 / 1ユーロ 140.00円

(単位:百万円、%)

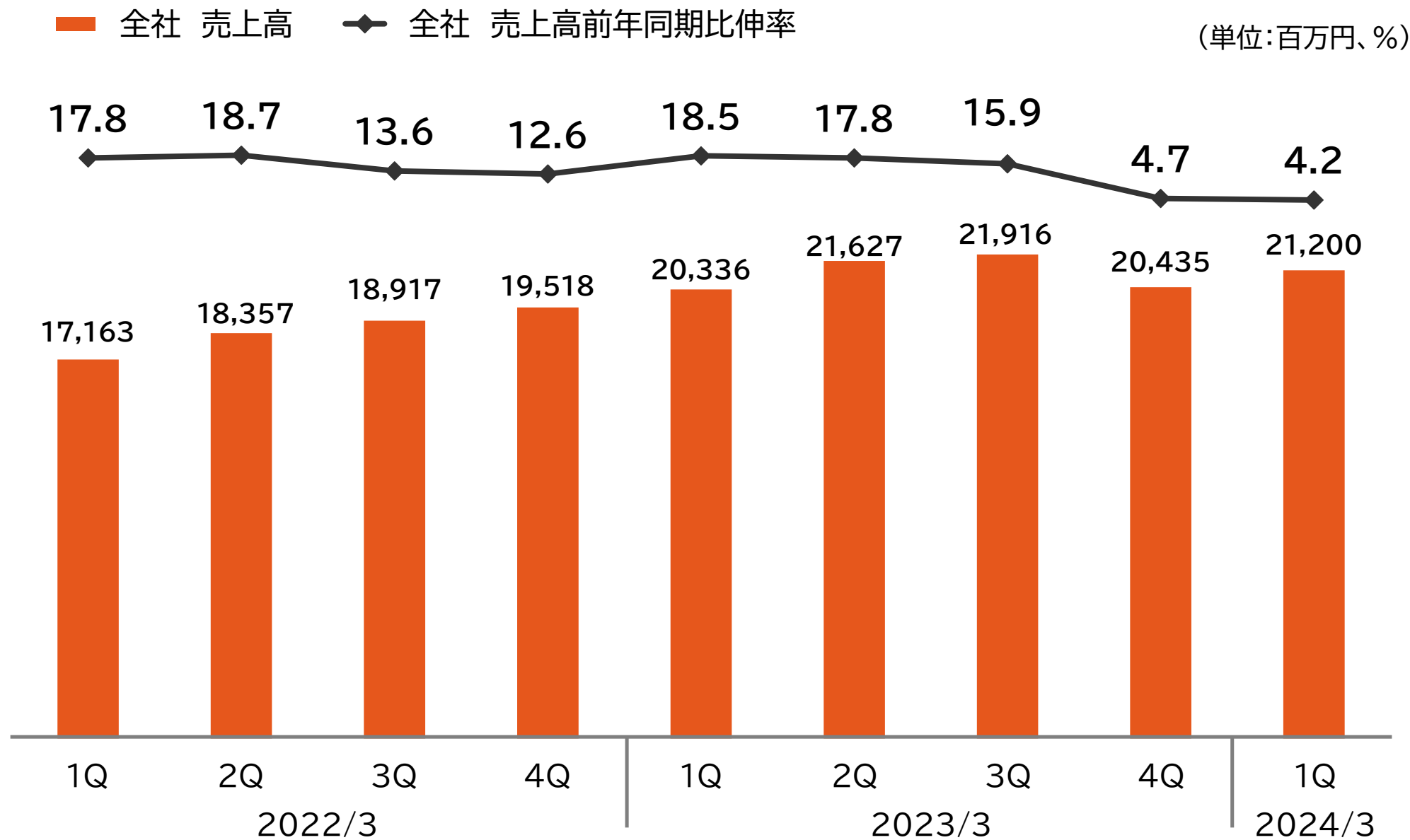
	当期実績	前期実績	増減率	上期計画	進捗率
売上高	21,200	20,336	+4.2	42,850	49.5
売上総利益	9,978	8,535	+16.9	—	—
同率	47.1	42.0	—	—	—
営業利益	3,510	2,191	+60.2	4,950	70.9
同率	16.6	10.8	—	11.6	—
経常利益	4,196	3,082	+36.2	4,900	85.6
同率	19.8	15.2	—	11.4	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,918	2,220	+31.4	3,590	81.3
同率	13.8	10.9	—	8.4	—
一株当たり四半期純利益	61.71	46.95	—	75.90	—

2020~24年3月期第1四半期 全社実績推移

- 2020年3月期1Q
- 2021年3月期1Q
- 2022年3月期1Q
- 2023年3月期1Q
- 2024年3月期1Q
- 同率

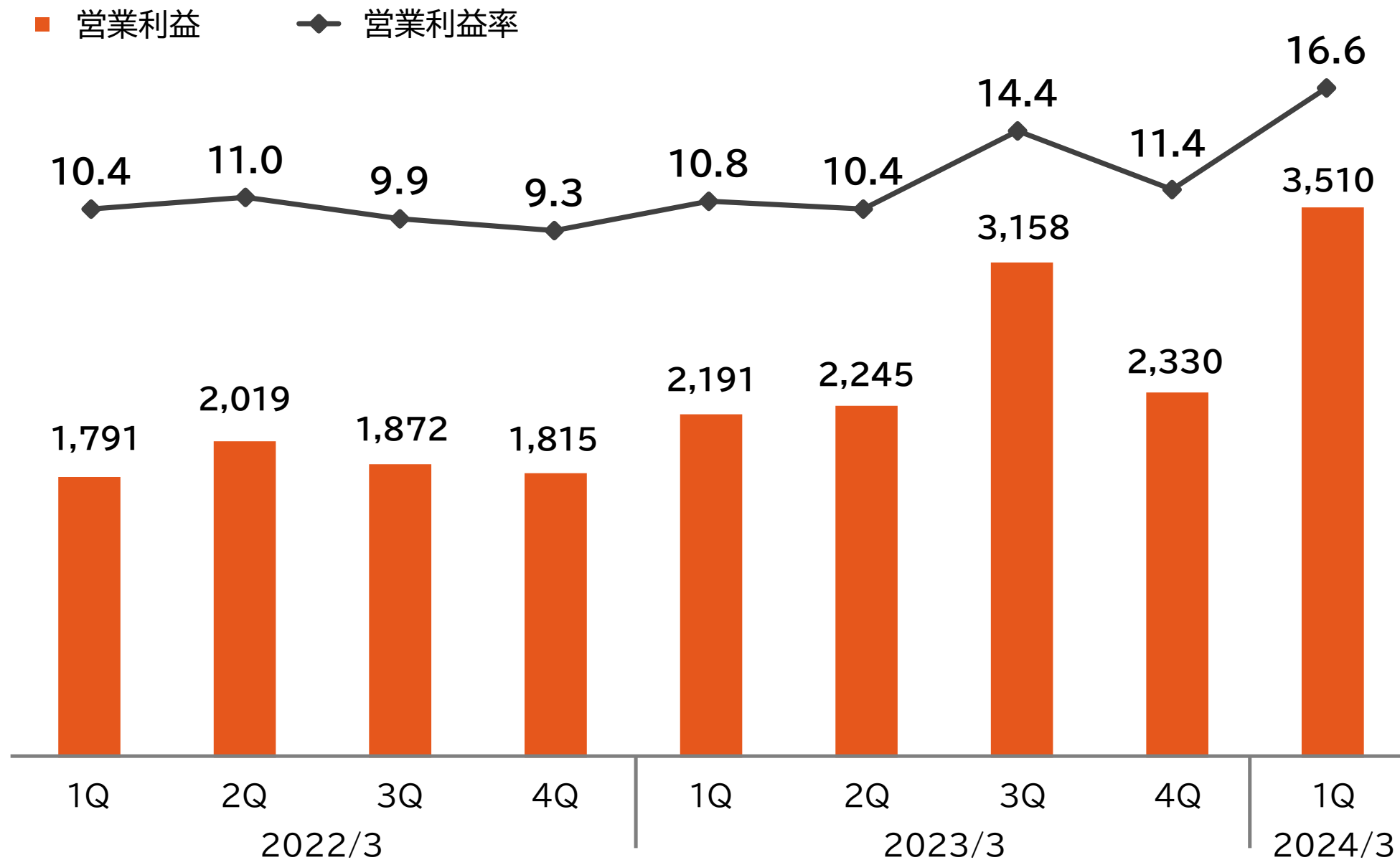


四半期別売上高推移



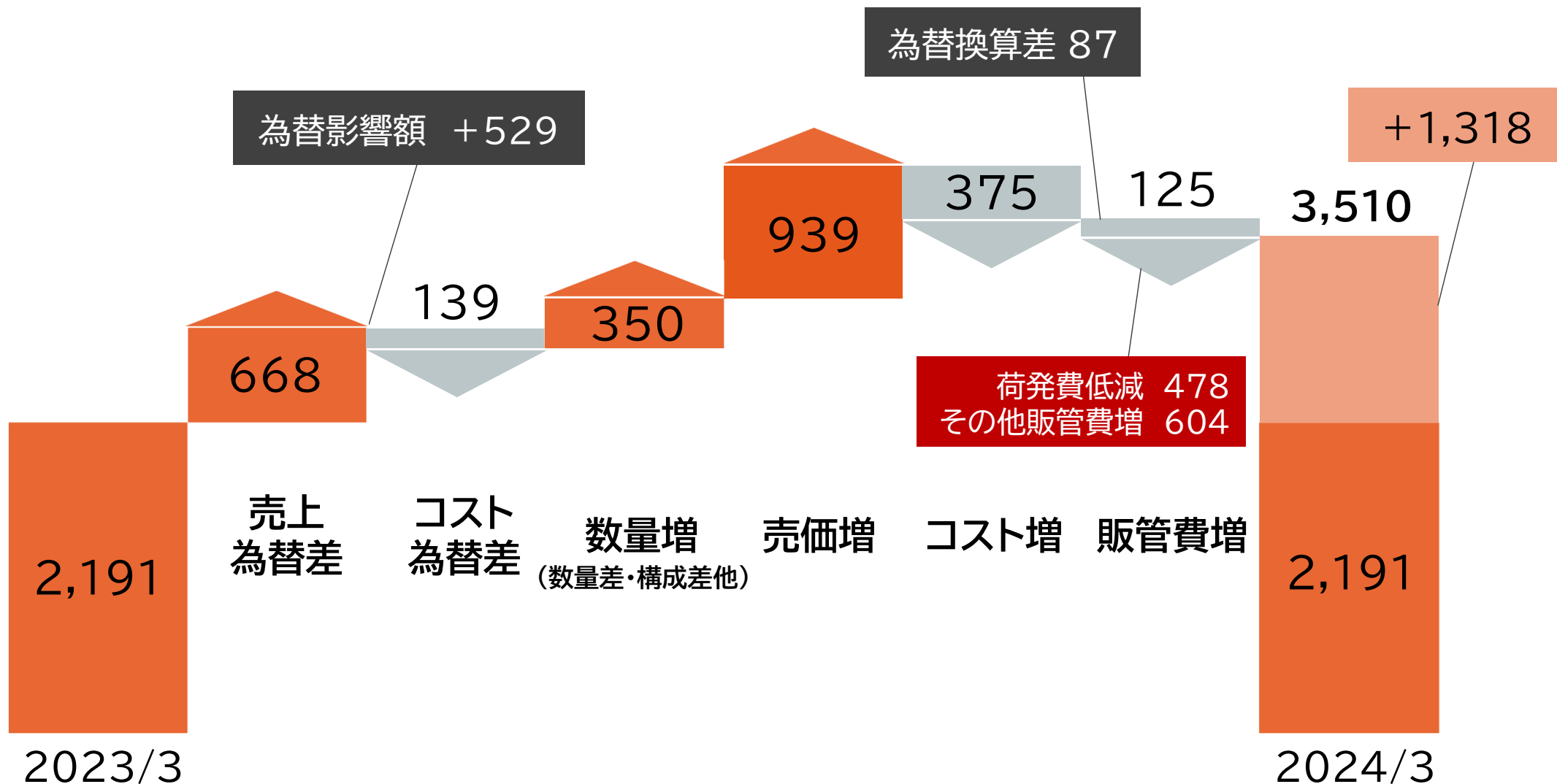
四半期別営業利益推移

(単位:百万円、%)



営業利益の増減要因

(単位:百万円)



■ 営業外収支と特別損益の実績

(単位:百万円)

	当期実績	前期実績	前年差
営業外収支	686	890	△204
営業外収益(為替除き)	152	122	+30
営業外費用(為替除き)	△22	△19	△2
為替差額	555	787	△232
特別損益	△7	△29	21
特別利益	0	3	△3
特別損失	△7	△32	24

■ 設備投資、減価償却費、研究開発費の実績

(単位:百万円、%)

	当期実績	前期実績	当期年間計画	進捗率
設備投資	444	478	4,615	9.6
減価償却費	750	722	3,460	21.7
研究開発費	1,012	835	4,545	22.3

重点方針

重点事業の拡大と新規事業の創出への積極的な投資により、事業成長につなげる

中長期的な事業成長に向けた戦略的投資

3年間累計投資額
(2022/3~24/3) 36億円

(単位:百万円、%)

	当期実績	当期年間計画	進捗率
営業インフラ投資	28	500	5.6
デジタル技術への投資	35	400	8.8
開発戦略投資	27	600	4.5
コーポレート・コミュニケーション投資 他	0	100	-
合計	90	1,600	5.6

原材料価格や為替の変動が、企業収益に影響

国内

経済社会活動の正常化により、緩やかな持ち直しの動きが継続。

当社インダストリアル機器部門に関連する新設住宅着工戸数は、持家が前年に対して低調であった一方で、賃貸・分譲は増加傾向。

海外

世界的な物価高と金融引き締め動きにより、景気は緩やかに減速。

米国は、住宅着工に下げ止まりの動きがみられ、非住宅市場に対する建設投資が引き続き堅調に推移。

欧州は、不透明な景気見通しから、国ごとに景況感に差がみられる状況が継続。

参考指標

新設住宅着工戸数

・2023年1月～3月は前年比+0.6%
(持家△8.9%、賃貸+3.0%、分譲+6.5%)

→機工品事業(木造系)にマイナス影響

非居住建築物の着工床面積/建設技能労働者需給

・2022年10月～2022年12月は前年比△25.2%
(事務所△55.7%、店舗△7.6%、工場+4.3%、倉庫△45.5%)

・建設技能労働者 鉄筋工(建築)の需給は、不足解消傾向

→機工品事業(コンクリート系)にマイナス影響

為替

・1ドル135.81円、1ユーロ147.90円
(前年:1ドル126.50円、1ユーロ136.76円)

・売上為替感応度(年間換算) (※2024年3月期 計画値)
米ドル200百万円、ユーロ90百万円

・営業利益為替感応度(年間換算) (※2024年3月期 計画値)
米ドル50百万円、ユーロ90百万円

米国の新設住宅着工戸数

・2023年4月の年率換算値は134.8万戸、5月は155.9万戸、
6月は143.4万戸
(前年4月:180.5万戸、5月:159.1万戸、6月:155.9万戸)

2024年3月期第1四半期セグメント実績

2024年3月期第1四半期 セグメント実績

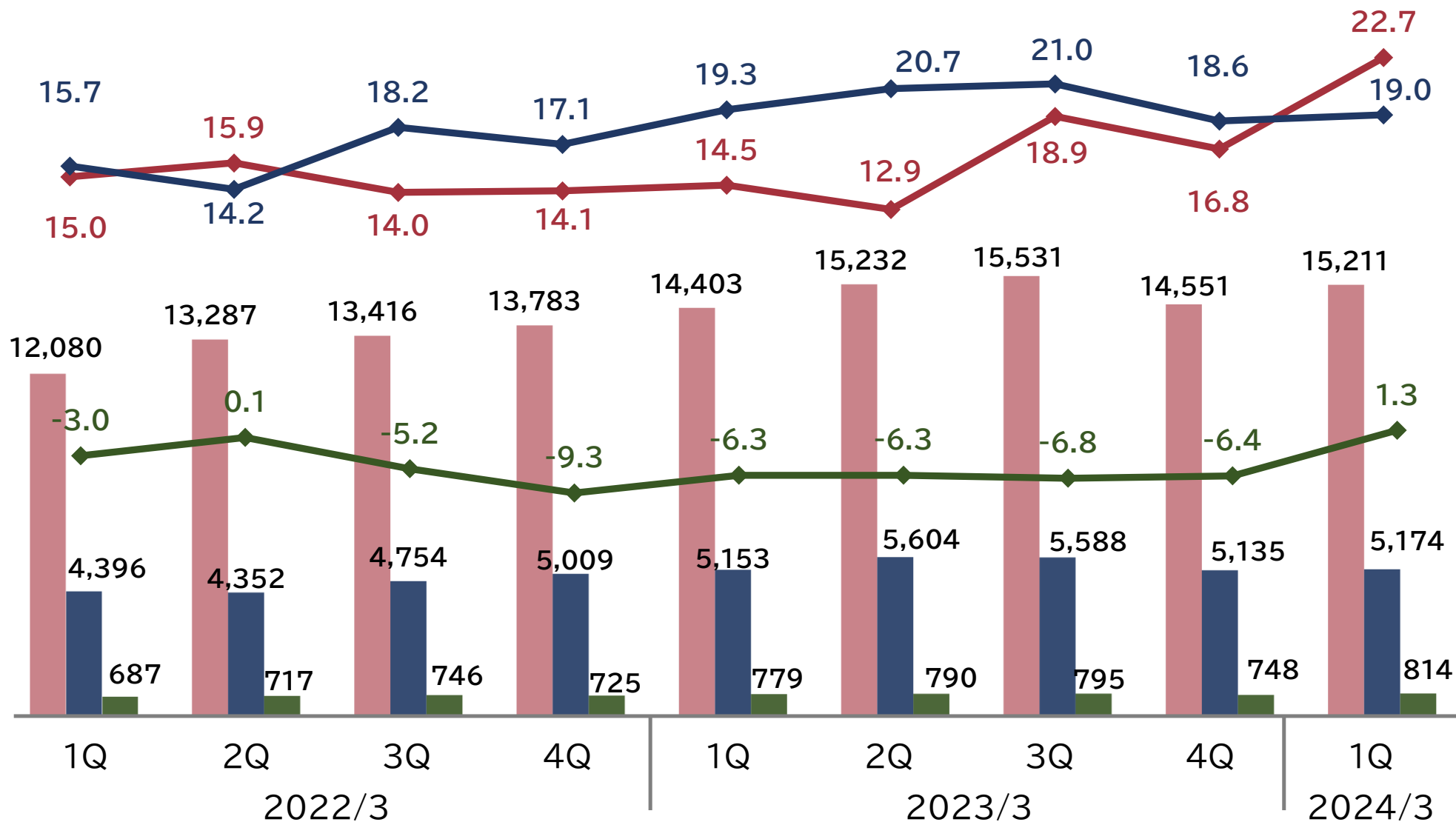
(単位:百万円、%)

	当期実績	前期実績	増減率	上期計画	進捗率
インダストリアル機器部門					
売上高	15,211	14,403	+5.6	30,670	49.6
セグメント利益	3,458	2,084	+66.0	5,160	67.0
セグメント利益率	22.7	14.5		16.8	
オフィス機器部門					
売上高	5,174	5,153	+0.4	10,550	49.0
セグメント利益	985	996	△1.1	1,850	53.3
セグメント利益率	19.0	19.3		17.5	
HCR機器部門					
売上高	814	779	+4.5	1,630	50.0
セグメント利益	10	△48	—	40	25.7
セグメント利益率	1.3	△6.3		2.5	
調整額	△944	△839	—	△2,100	—
全社計					
売上高	21,200	20,336	+4.2	42,850	49.5
営業利益	3,510	2,191	+60.2	4,950	70.9
営業利益率	16.6	10.8		11.6	

四半期別セグメント実績推移

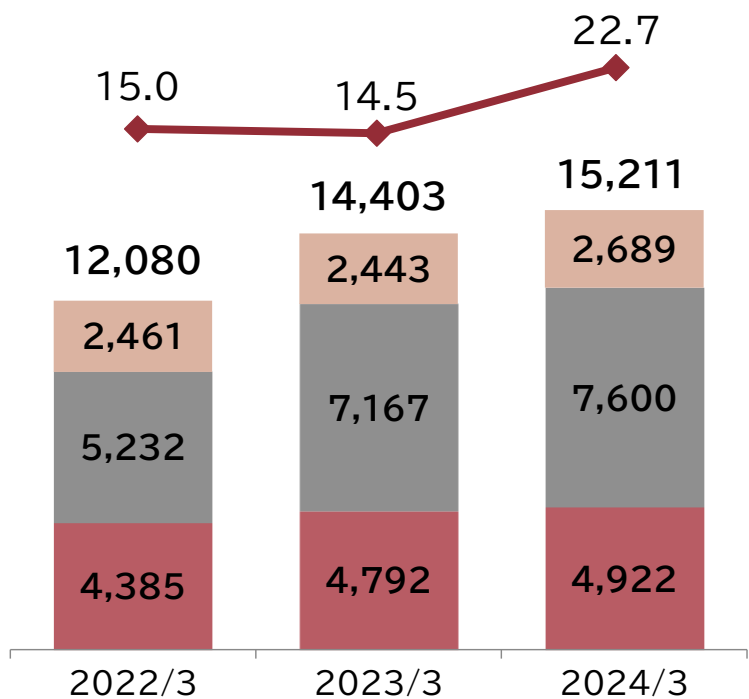
- インダストリアル機器部門 売上高
- オフィス機器部門 売上高
- HCR機器部門 売上高
- インダストリアル機器部門 セグメント利益率
- オフィス機器部門 セグメント利益率
- HCR機器部門 セグメント利益率

(単位:百万円、%)



■ 国内機工品事業 ■ 海外機工品事業
 ■ 住環境機器事業 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



鉄筋結束機「ツインタイア」



コンプレッサ 新モデル
限定カラー

国内機工品事業

▶ エアコンプレッサの販売が引き続き好調であったほか、鉄筋結束機「ツインタイア」の消耗品の販売が堅調に推移しました。

海外機工品事業

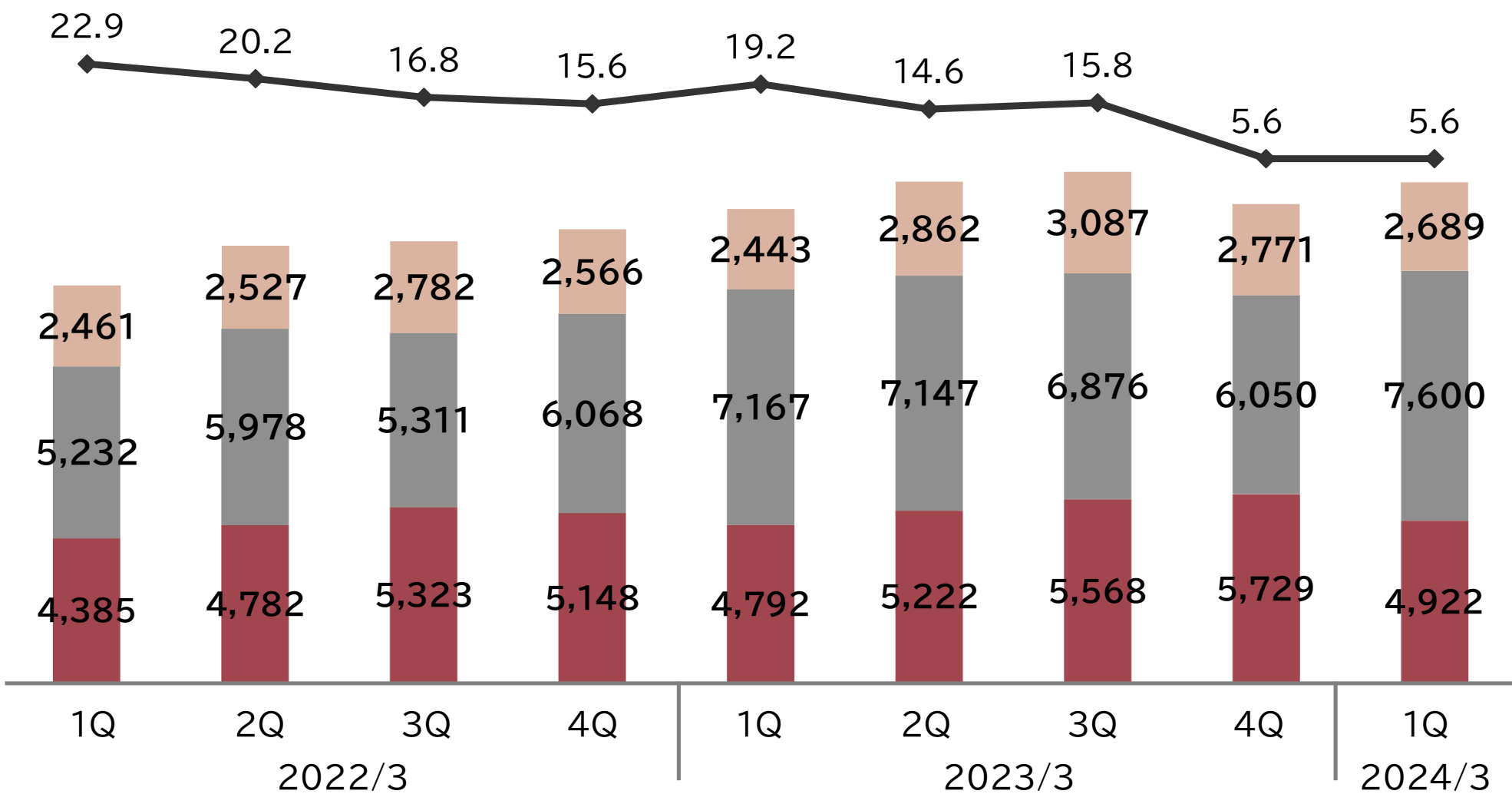
▶ 非住宅市場に対する建設支出の増加と流通での在庫調整の解消などにより、鉄筋結束機「ツインタイア」とその消耗品の販売が北米で伸長しました。一方で、欧州では不透明な景気見通しにより、販売が停滞しました。

住環境機器事業

▶ 主力の浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」の販売が、注力しているリフォーム・リプレースのストック市場で伸長したことに加え、新築住宅市場でも賃貸を中心として伸長しました。

インダストリアル機器部門 四半期別売上高推移

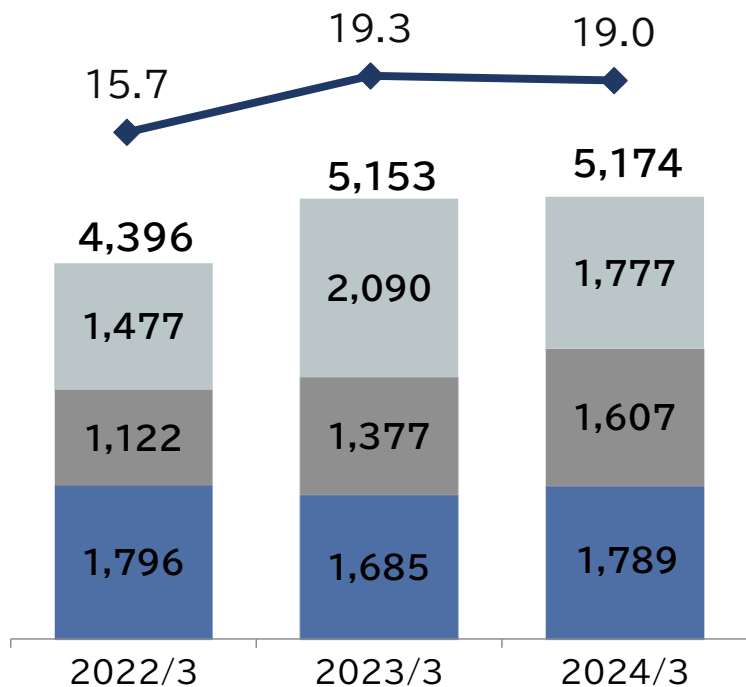
■ 国内機工品事業 売上高
 ■ 海外機工品事業 売上高
 ■ 住環境機器事業売上高
 - インダストリアル機器部門 売上高前年同期比伸率 (単位:百万円、%)



オフィス機器部門 2024年3月期第1四半期実績

■ 国内オフィス事業 ■ 海外オフィス事業
 ■ オートステープラ事業 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



表示作成機「ビーポップ」



チューブマーカ「レタソイン」

国内オフィス事業

▶ WEBセミナーを活用した提案活動に加えて、前年同期に発生していた電子部品不足の解消などにより、表示作成機「ビーポップ」やチューブマーカ「レタソイン」などの文字表示機器の販売が増加しました。

海外オフィス事業

▶ 欧州における展示会への出展増や対面営業の強化などにより、表示作成機「ビーポップ」の販売が堅調に推移しました。

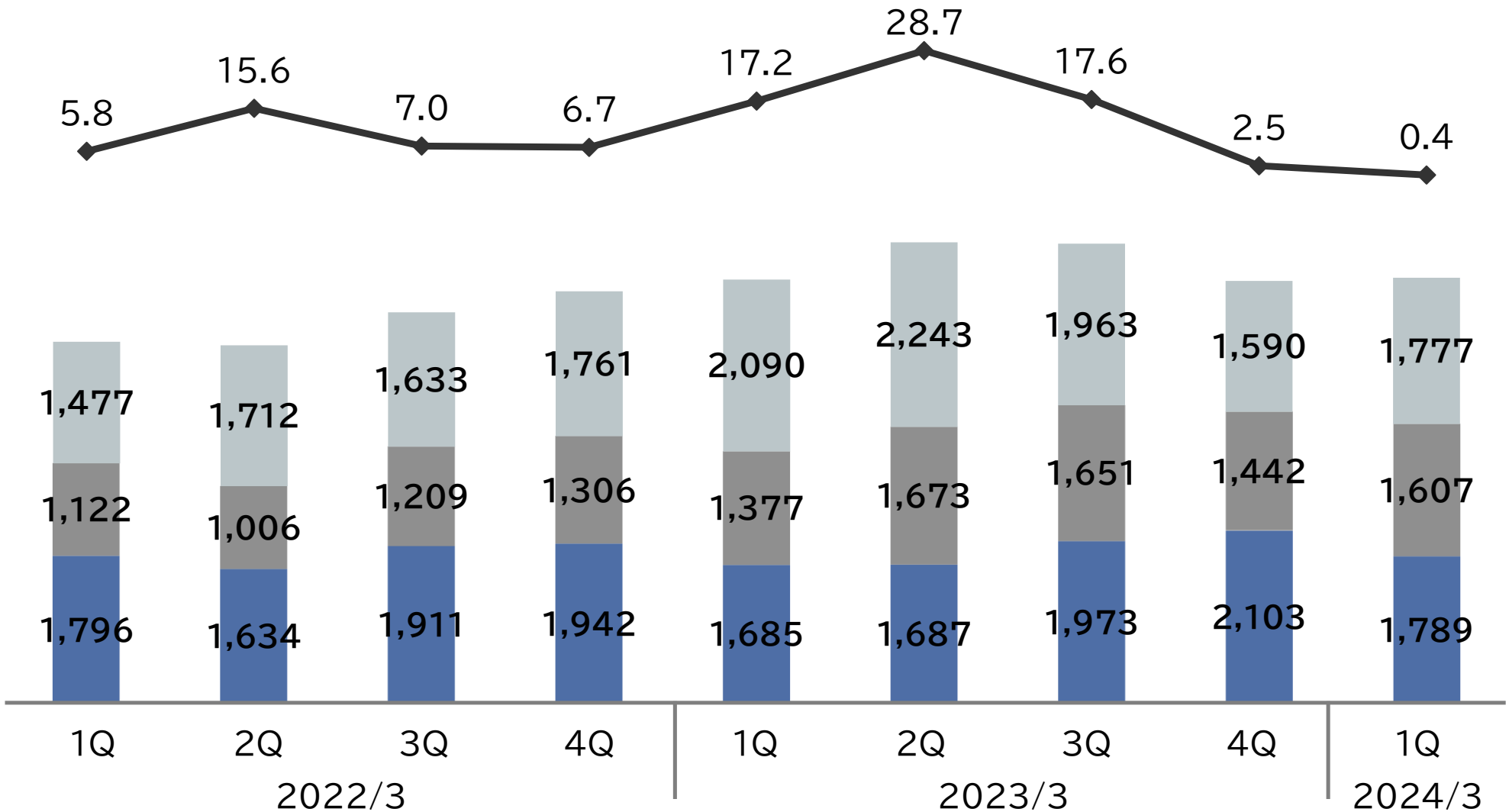
オートステープラ事業

▶ 取引先からの受注停滞により、機械と消耗品の販売が減少しました。

オフィス機器部門 四半期別売上高推移

■ 国内オフィス事業 売上高 ■ 海外オフィス事業 売上高 ■ オートステープラ事業売上高
 - オフィス機器部門 売上高前年同期比伸率

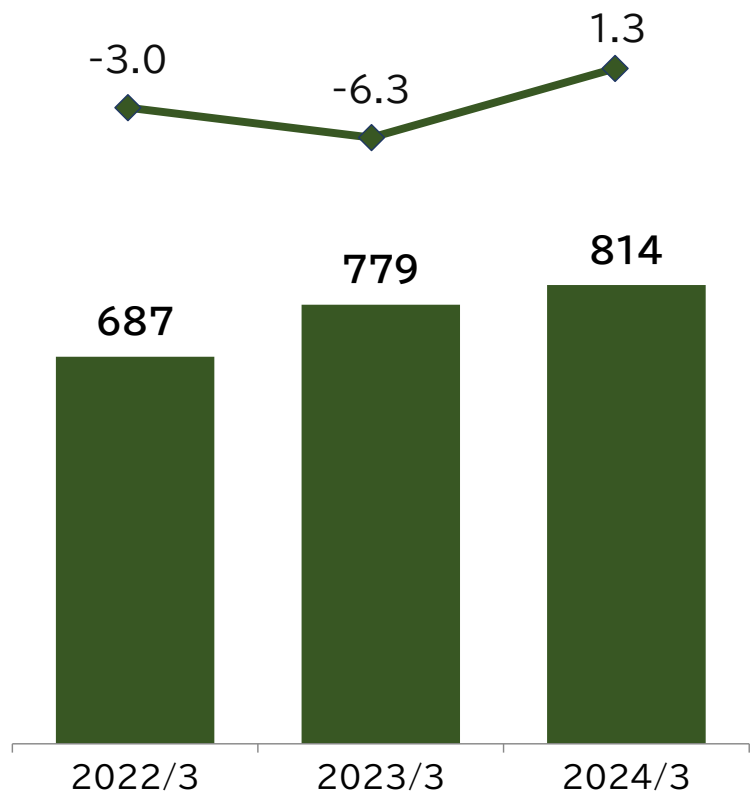
(単位:百万円、%)



HCR機器部門 2024年3月期第1四半期実績

■ HCR機器部門売上高 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



機能性車いす
「ウェイビットループラス」



軽量車いす
「ふわりす」

HCR機器部門



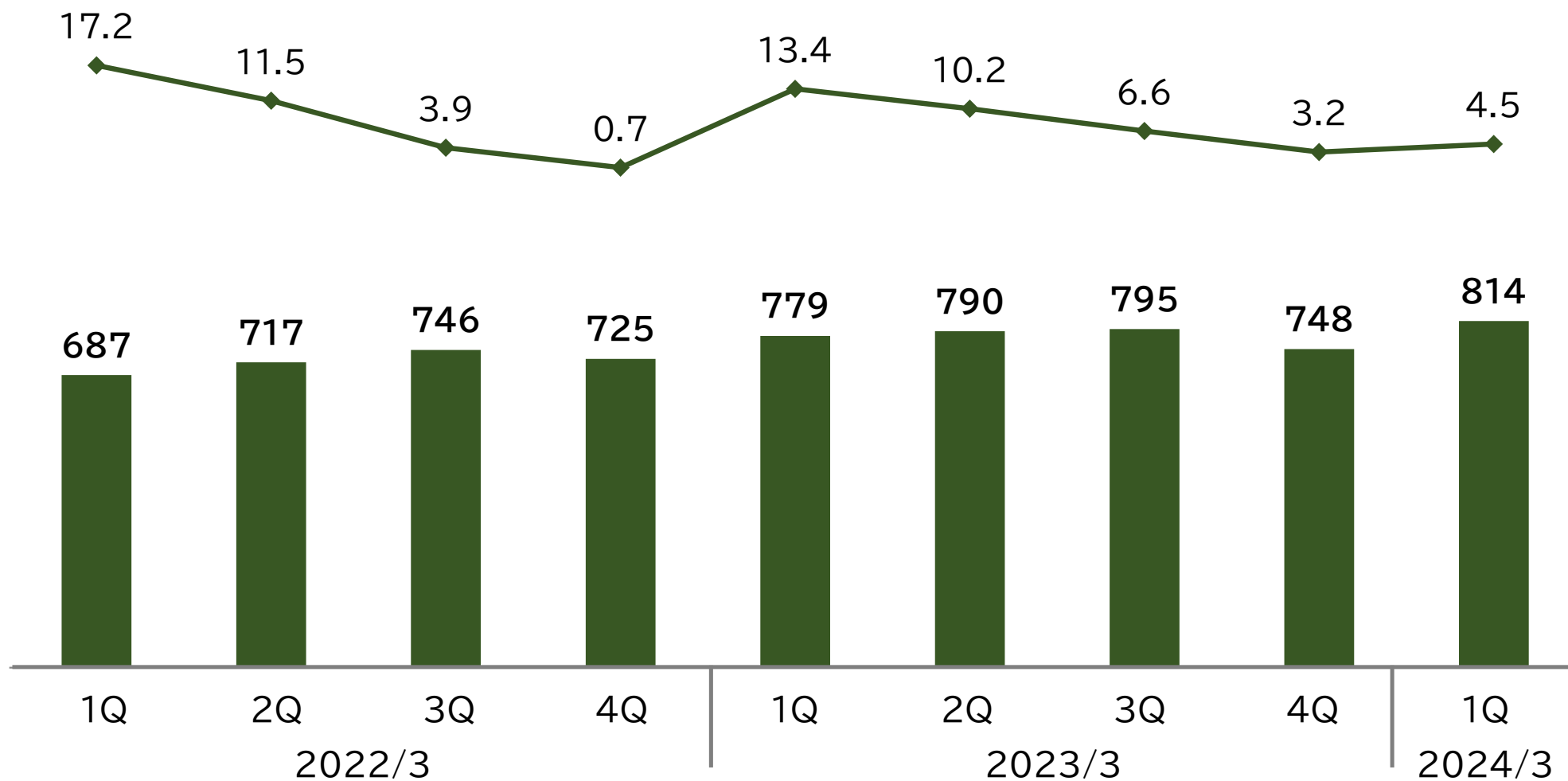
レンタル市場での新製品の採用活動の推進などにより、増収増益となりました。

HCR機器部門 四半期別売上高推移

■ HCR機器部門 売上高

— HCR機器部門 売上高前年同期比伸率

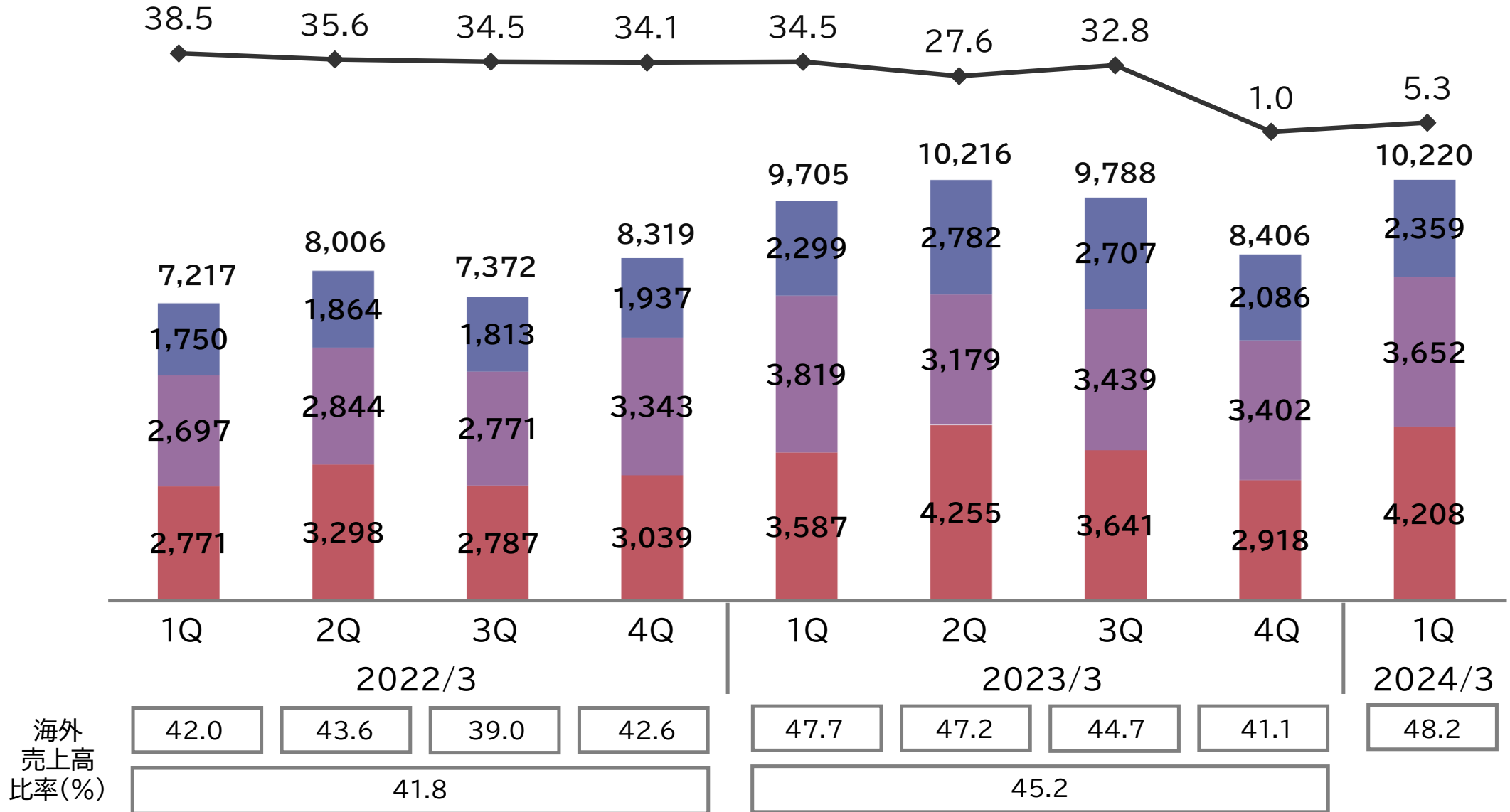
(単位:百万円、%)



四半期別海外地域別売上高推移

■ 北米 売上高 ■ 欧州 売上高
 ■ アジア 売上高 — 海外売上高合計 前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



※オートステープラ事業の海外売上高も含んでおります。

鉄筋結束機事業を中心にコンクリート構造物向け工具の販売は堅調に推移

- ・ 国内・海外コンクリート構造物向け工具売上 **76億円** (前年+8.4%の伸長)(計画に対する進捗率24.5%)
- ・ コンクリートディーラー数 2021年3月期末比 **+52.7%増**

機械の累計稼働台数の増加にともない消耗品のタイヤが引き続き伸長

<海外>



〔北米〕

- ・ 前期第4四半期に新規受注が鈍化した要因であったディーラーの在庫調整が解消。非住宅市場に対する建設投資も堅調で、機械・消耗品がともに伸長。

〔欧州〕

- ・ 不透明な景気見通しから、住宅市況が悪化。非住宅は国ごとに市況感に差がみられる状況。特にドイツやスウェーデンなどで販売が停滞、今後も厳しい環境が続く見込み。

〔欧米共通〕

- ・ 商業ビルや橋梁、高速道路など、堅調な非住宅市場へのアプローチ強化を継続。

<国内>



- ・ コンクリート着工床面積の減少の影響を受けて、機械の販売が鈍化。スラブや壁、柱など用途別に、生産性向上の観点からの提案活動を引き続き進める。

2024年3月期 業績予想

2024年3月期第2四半期(累計) 全社計画

19

■想定為替レート(2Q以降)

1ドル 135.00円

1ユーロ 145.00円

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2023/7/31)	当初計画 (2023/4/28)	差額	前期実績	増減率
売上高	42,850	42,850	-	41,963	+2.1
営業利益	6,250	4,950	1,300	4,436	+40.9
同率	14.6	11.6		10.6	
経常利益	6,260	4,900	1,360	5,723	+9.4
同率	14.6	11.4		13.6	
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,390	3,590	800	4,129	+6.3
同率	10.2	8.4		9.8	
1株当たり当期純利益(円)	92.80	75.90	16.90	87.29	

・ 足元の業績の推移及び想定為替レートの変更などにより、2023年4月28日に公表した予想値を上回る見込みとなりましたので、2Q累計及び通期の計画を修正しました。

2024年3月期第2四半期(累計) セグメント計画

20

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2023/7/31)	前回計画 (2023/4/28)	差額	前期実績	増減率
インダストリアル機器部門					
売上高	30,720	30,670	50	29,636	+3.7
セグメント利益	6,230	5,160	1,070	4,054	+53.7
セグメント利益率	20.3	16.8		13.7	
オフィス機器部門					
売上高	10,500	10,550	△50	10,758	△2.4
セグメント利益	1,940	1,850	90	2,155	△10.0
セグメント利益率	18.5	17.5		20.0	
HCR機器部門					
売上高	1,630	1,630	－	1,569	+3.9
セグメント利益	20	40	△20	△98	－
セグメント利益率	1.2	2.5		△6.3	
調整額	△1,940	△2,100	160	△1,674	－
全社計					
売上高	42,850	42,850	－	41,963	+2.1
営業利益	6,250	4,950	1,300	4,436	+40.9
売上高営業利益率	14.6	11.6		10.6	

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2023/7/31)	当初計画 (2023/4/28)	差額	前期実績	増減率
売上高	87,800	87,800	-	84,316	+4.1
営業利益 同率	12,000 13.7	10,700 12.2	1,300	9,926 11.8	+20.9
経常利益 同率	11,960 13.6	10,600 12.1	1,360	10,510 12.5	+13.8
親会社株主に帰属する当期純利益 同率	8,500 9.7	7,700 8.8	800	7,619 9.0	+11.6
1株当たり当期純利益(円)	179.57	162.78	16.79	161.07	
ROE	9.2	8.5	0.7P	8.9	

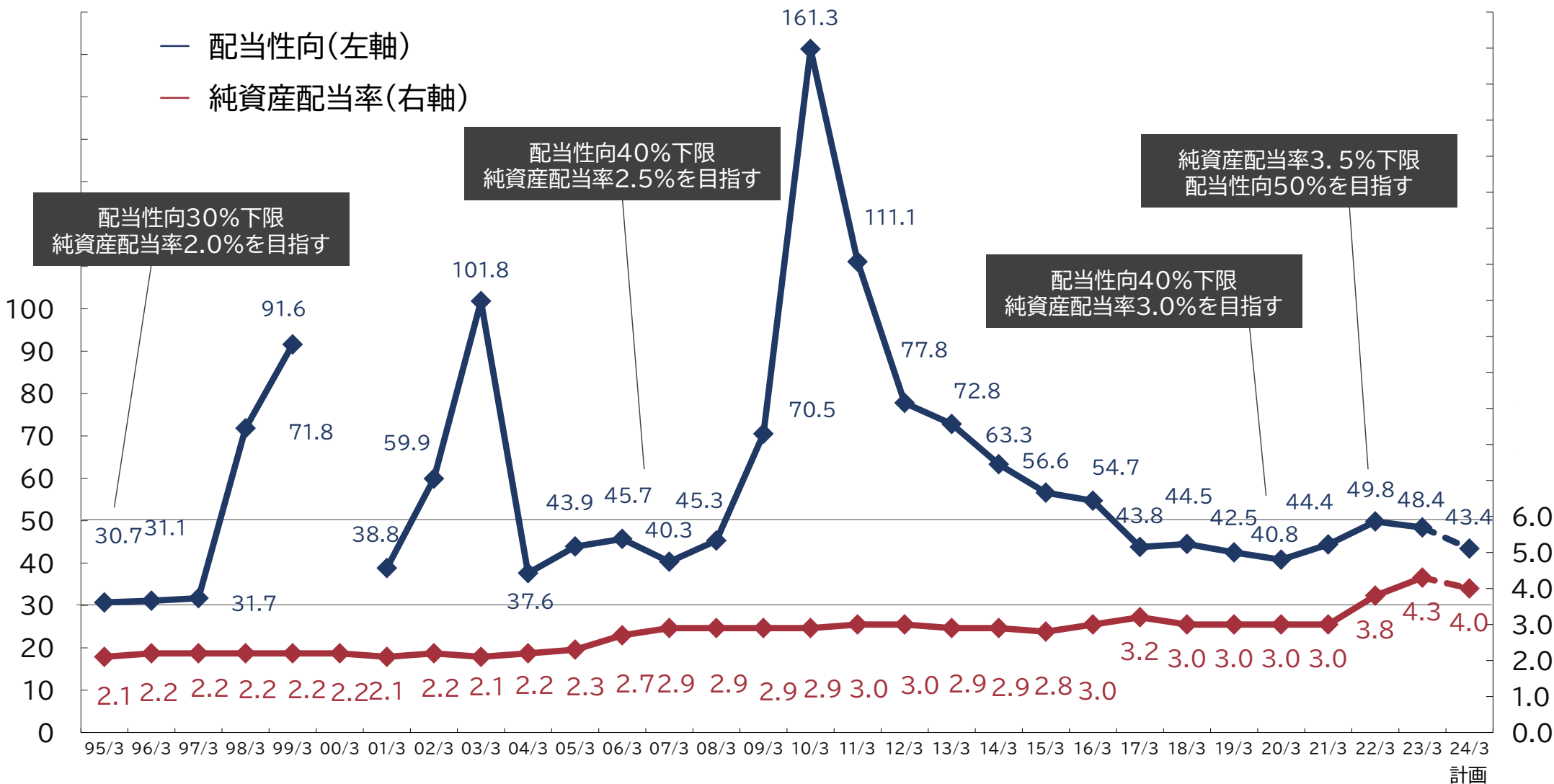
2024年3月期 セグメント計画

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2023/7/31)	当初計画 (2023/4/28)	差額	前期実績	増減率
インダストリアル機器部門					
売上高	62,780	62,900	△120	59,719	+5.1
セグメント利益	11,940	10,950	990	9,433	+26.6
セグメント利益率	19.0	17.4		15.8	
オフィス機器部門					
売上高	21,720	21,600	120	21,482	+1.1
セグメント利益	4,030	3,850	180	4,287	△6.0
セグメント利益率	18.6	17.8		20.0	
HCR機器部門					
売上高	3,300	3,300	-	3,113	+6.0
セグメント利益	80	100	△20	△201	-
セグメント利益率	2.4	3.0		△6.5	
調整額	△4,050	△4,200	150	△3,594	
全社計					
売上高	87,800	87,800	-	84,316	+4.1
営業利益	12,000	10,700	1,300	9,926	+20.9
売上高営業利益率	13.7	12.2		11.8	

連結決算を基準に「純資産配当率3.5%下限、配当性向50%目標」

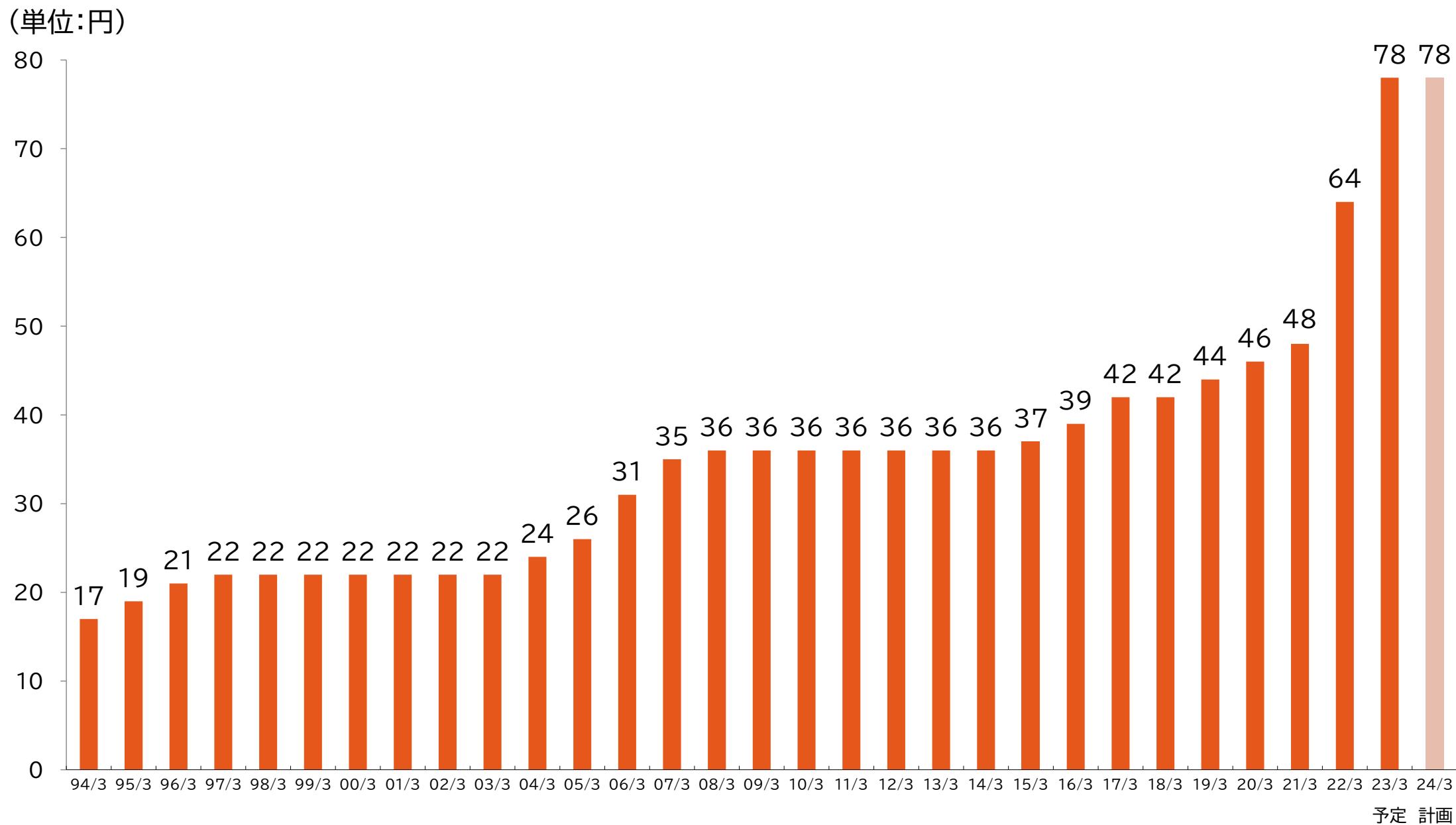
(単位:%)



※2005年3月期までは単独ベースです。

計画

配当政策 1株当たり配当金



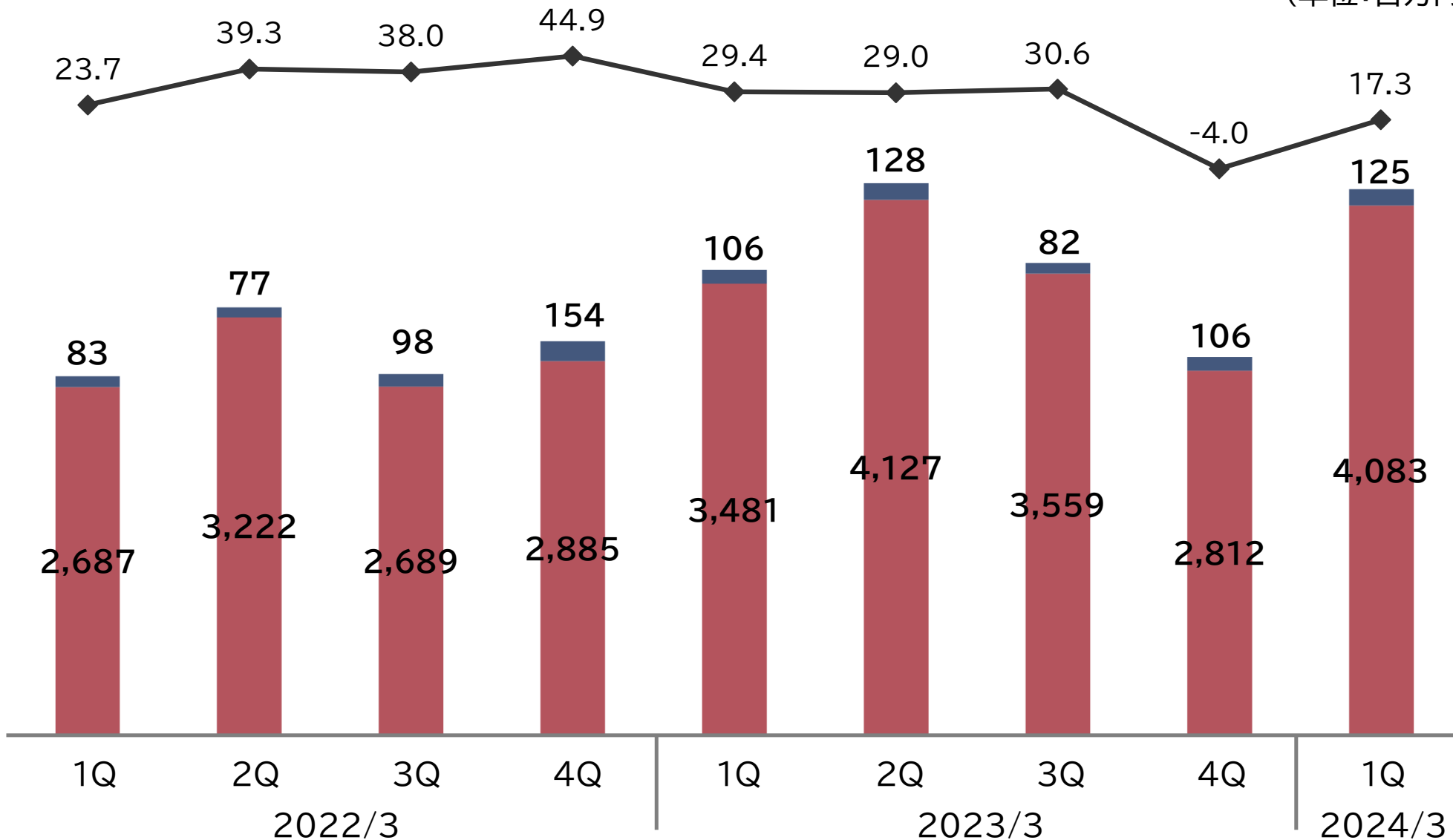
予定 計画

參考資料

四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)

■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 北米売上高前年同期比伸率

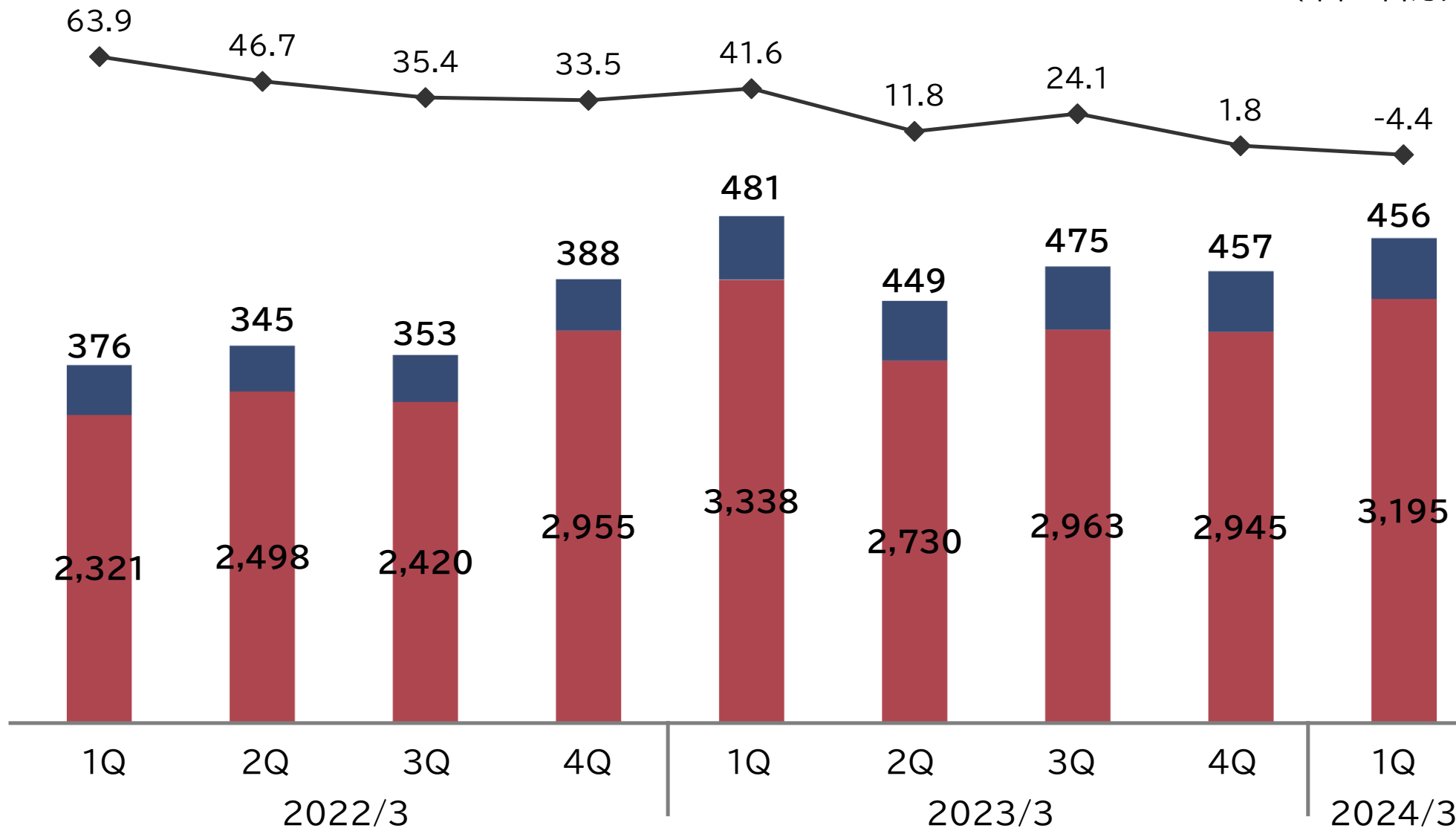
(単位:百万円、%)



四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)

■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 欧州売上高前年同期比伸率

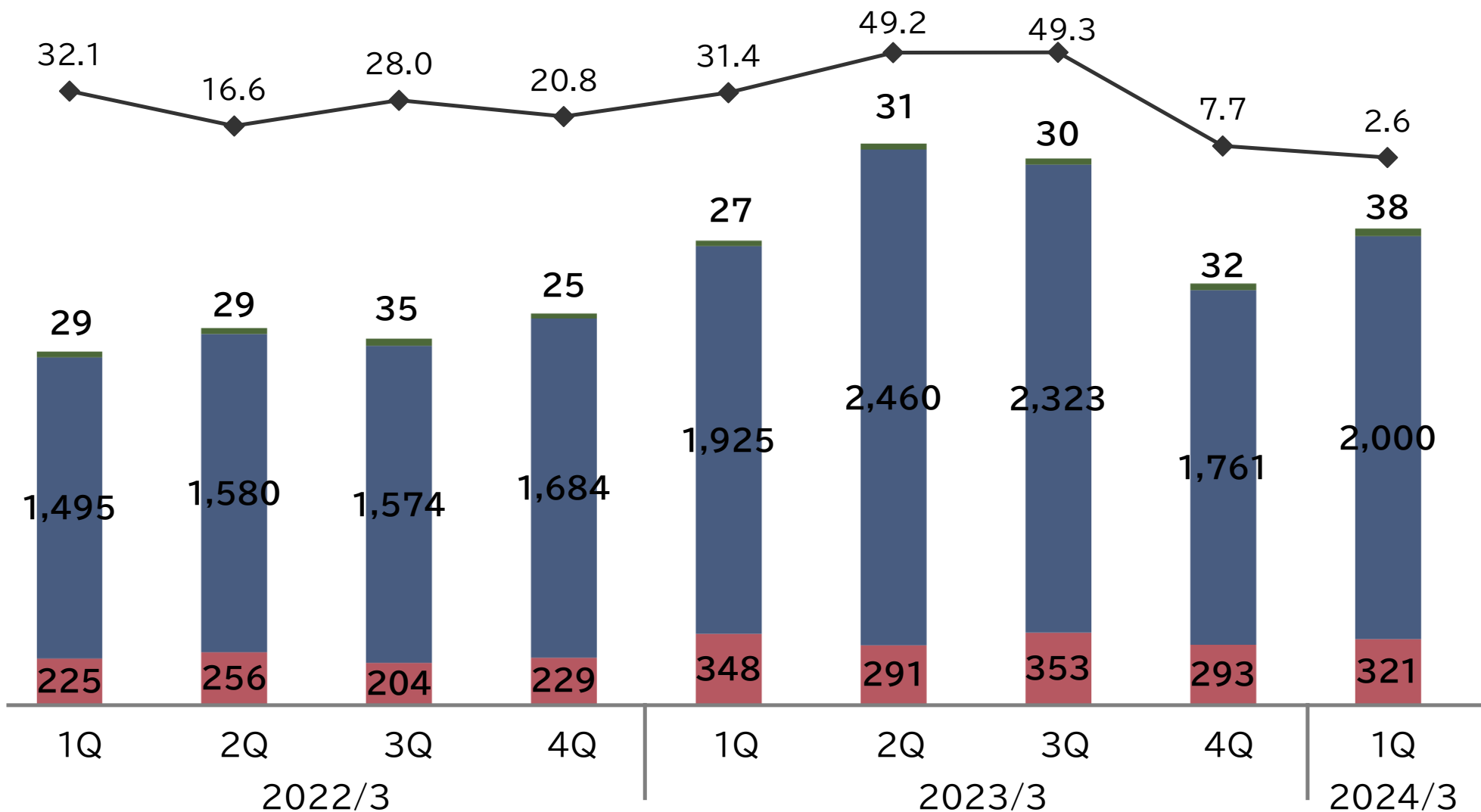
(単位:百万円、%)



四半期別海外地域別セグメント売上高推移(日本除くアジア)

- インダストリアル機器部門 売上高
- オフィス機器部門 売上高
- HCR機器部門 売上高
- アジア売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



機工品事業

木造建築物向け工具

釘打機



エアコンプレッサ



充電工具



コンクリート構造物向け工具

鉄筋結束機
「ツインタイア」



コンクリートネイラ



ガスネイラ



AF(農業・食品)

園芸用誘引結束機



袋とじ機



オフィス事業

文具関連製品

ホッチキス



パンチ



スタンプ他



文字表示機器

表示作成機
「ビーポップ」



チューブマーカー
「レタツイン」



食品表示用
ラベルプリンタ



その他

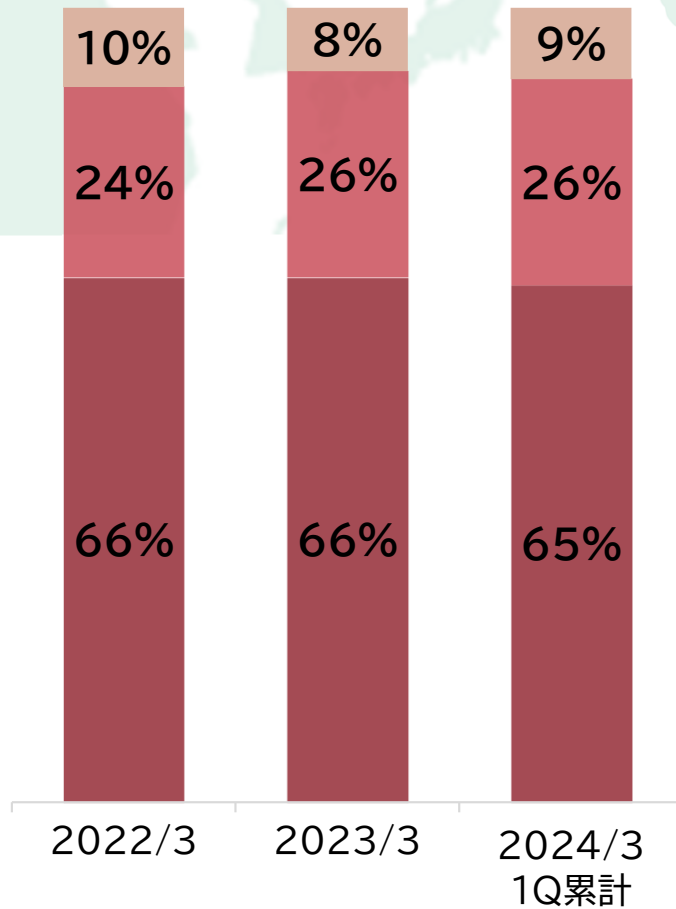
タイムレコーダ



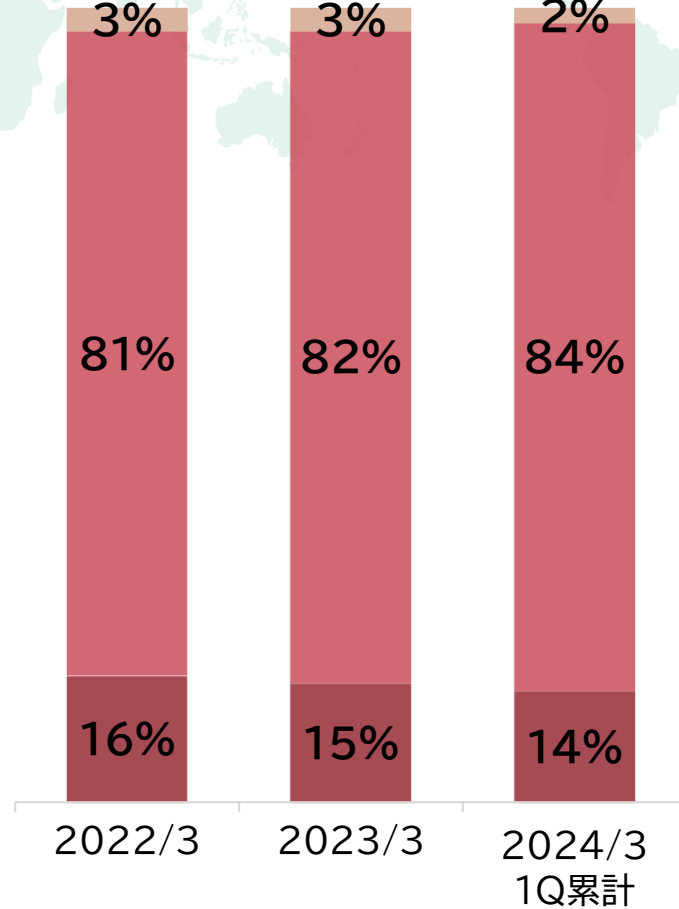
筆耕



国内機工品事業 製品内訳

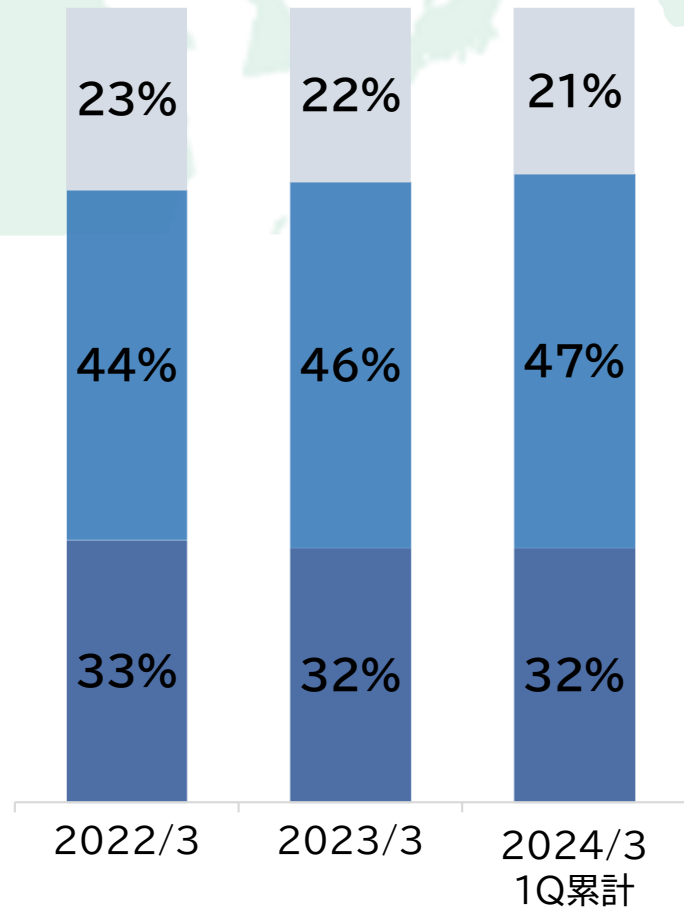


海外機工品事業 製品内訳

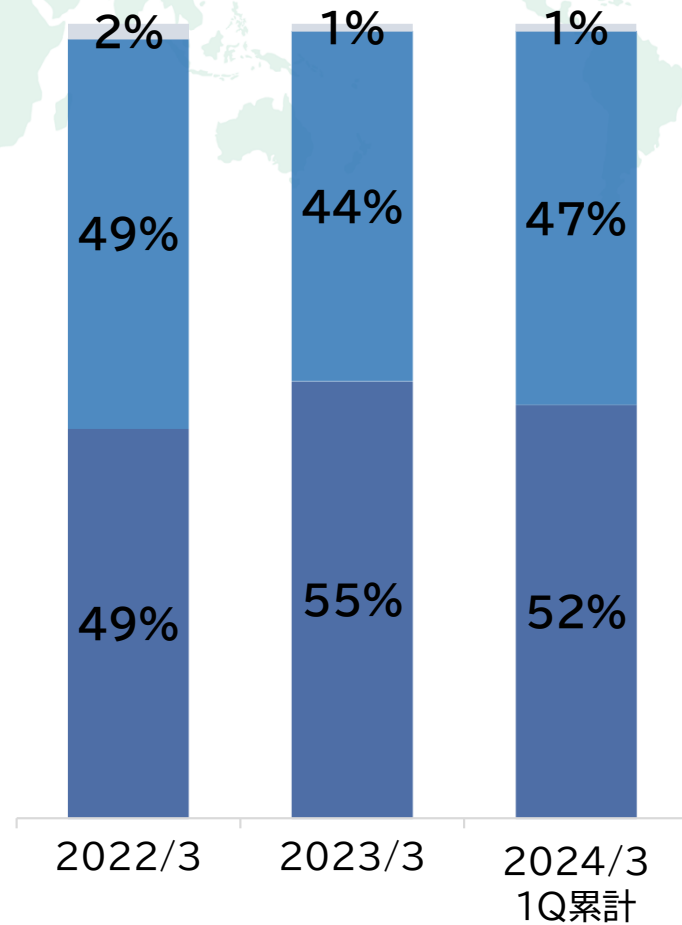


- AF(農業・食品)
- コンクリート構造物向け工具
- 木造建築物向け工具

国内オフィス事業 製品内訳



海外オフィス事業 製品内訳



- その他
- 文字表示機器
- 文具関連製品

The logo consists of the word "MAX" in a bold, white, sans-serif font, centered within a solid orange rectangular background.The slogan "ENGINEERED FOR PERFORMANCE" is written in a bold, orange, sans-serif font. It is positioned between two horizontal, wavy orange lines that curve upwards at their ends.

本資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。予めご承知おきください。